

延浄寺だより

7月13日から16日はお盆
03-33326-7337



住職 網代 正孝

もうすぐお盆 お盆とご先祖

7月15日(日)正午から12時45分まで

お盆合同法要

お盆(7月13~16日)はご先祖に感謝をする日です。ご先祖は阿弥陀様の光の中で私達を支えています。阿弥陀様に手を合わせ「ありがとうございます」が「南無・阿弥陀仏」です。

「ありがとう」と感謝をされれば誰でも「うれしい」ものです。ご先祖に感謝をすればするほど、ご先祖は喜びあなたを支える力が大きくなります。

7月15日(日)の正午から御本堂で親しかった故人や、ご先祖に感謝する合同法要をもちます。来寺される時、故人やご先祖のどこに感謝するのか具体的に考えてこられると、ふれあいが深くなり、支えられる力が大きくなります。

気がつきにくい大きな力

私達は何時も見えない大きな力に支えられています。それは「お蔭様で」とか「運が良かった」とか「ついでに」「うまくいった」など様々な言葉になっていますが、やはり大きな力



に支えられているからなのでしょう。

他の大きな力に支えられている実感などは日ごろ強く感じることはありません。「阿弥陀様の光の中で生かされている」と言葉ではわかるのですが、水や空気の様なものですから普段は感じないからなのでしょう。

お盆にご先祖の力を感じる

これは感性の問題ですから訓練すると感じやすくなります。感じやすくなる条件も必要です。お盆は「ご先祖に感謝する日」だと自分に言い聞かせると、その方に気が向きます。

また条件として「場の力」があります。阿弥陀様の光があふれている御本堂は、ご先祖との触れ合いが容易ですし、墓前はご先祖の力を感じやすい場です。

ご先祖が皆様を迎える

お盆はご先祖が皆様を迎えてくれるという逆の発想もできます。そうなるを迎えてくださっているご先祖に、なんの挨拶もないのは大変失礼なことになります。7月13~16日、そして8月13~16日はご先祖がお待ちです。どうぞご来寺ください。

「他の大きな力に支えられている」「ご先祖は阿弥陀様の光の中で私を支えてくれている。ご先祖の御蔭で今の私がある。支えられている力を感じる感性を磨くためにも、合同法要にぜひどうぞお出かけください。

トピックス

お寺の社会貢献
高齢社会の次は葬儀やお墓の問題
今回はお墓のこと、

納骨が無料の延浄寺の墓 価格ではなく他の価値観を

最近のお墓の事情——お骨をどうしよう

亡くなった時、火葬をしないで、そのままにしておくや犯罪になります。お骨にしてしまえば、何年も手元に置いていても犯罪にはなりません。そこで最近では押し入れに入れっぱなしのお骨もよくあります。

アパートの部屋にお骨を置いて行方不明、このお骨をお願いしますとか、役所に相談に行ったら当寺を紹介されたという電話、ひどい話になると、「故人は生活保護を受けていたのでどうぞよろしく」とお骨を置いていくような方。もちろん生活保護は、お寺の納骨とは関係ないので、生活保護をもらっている権利として来られるような方は出直してもらっていますが、亡くなったあとのお骨のことが気になる時代になってきました。

合祀制は価格競争

最近の新聞広告で永代供養墓が何十万円等の広告が多く目につきます。当寺も20年前から寺のお墓として合祀制のお墓を持っていきますが、競争相手が沢山いるからでしょうか、最近では申し込みも少なくなってきました。

調布・三鷹に公園墓地が沢山

一方で公園墓地のお墓のチラシはお盆とか彼岸の折にはかなり多くなります。私の家にも「お墓はいりませんか」という電話が時々来ます。「お墓は売るほどあります」というとガチャンと切られます。



ところが当寺の墓はなかなか売れません。相場より安いはずですがこれも競争相手が多からでしょうか、

浄土真宗は散骨が一番

お墓は本来カメのまま納骨するのではなく、墓の中に流し込むのが、正しい納骨の仕方です。当寺の墓もそうですが、私はダンボールをV字方に折り、手で流し込みます。ああこれが母親のお骨、これは伯父のだ。そのうえに父親のお骨を流し込む。20年前30年前を思い出し、半分以上にかえたお骨を覗ながら、早く土に還すための散骨です。

私はお墓の中にいません。阿弥陀様の光の中であなたを支えています。という浄土真宗の教えだと早く自然に還す散骨が一番良いのです。

当寺にも散骨、自然墓はある

当寺のお墓に降りる階段の桜の木の下に散骨のお墓を5年前に造りましたが、宣伝不足のせい、ここを希望される方はほんの少しです。



他に例がない無料の永代供養墓

私はお墓はいらない。けれど私のお骨を納めるところは決めておきたい。私は早く自然に還りたい。そんな方もこれから多くなると思います。何百万も出して墓は造れない。亡くなる方はどんどん増えますから、50年後は無縁墓ばかりが増えてくる気もします。そんな問題を解決するために延浄寺のお檀家になれば、納骨は無料です。という寺のお墓を造ることにしました(わかりやすくするために永代供養墓としましたが永代供養という発想はありません。お墓というより聖地とした方が良くもしれません)。場所は当寺の昔檀家総代をされていた倉さんの敷地内です。大きなコンクリートの壁の真ん中。倉家のお墓はカロートの口は15センチしか

ありません。そこに先祖代々お骨を流し込むのです、これは浄土真宗の本流です。墓誌もありません。

倉家が快く土地を提供くださいましたので、延浄寺が墓問題を解決する発想の転換をし、社会貢献できるユニークなお墓を造ろうとしています。

浄土真宗でないとしても

人間50年もすると忘れられる存在です。すべて阿弥陀様の光になると考えると、お骨はこの世の忘れ形見です。本人に届けるわけにもいきませんから一つ所にまとめればよいわけです。会員制にしてご門徒以外の方にも紹介したいと思えます。

大事なことは、生前契約が基本

もちろん生きている時に当寺と契約をすることが基本です。お骨にしてから持ち込まれると、単なるお骨の捨て場になってしまいます。このようなお墓を造り、生前から約束をして頂き、一大事の時はすべて寺が引き取る。そして自然に還す。浄土真宗の本流のお墓を復活させたいと思えます。

早く自然に還す寺の「聖地」を造り、お墓で困っている方、迷っている方、お墓はいらないとする方に提供し、墓事情に新しい方向付けをしていきたいと思えます。

だれでも無料とすれば多くの方が集まり、人が集まれば寺は栄える。やがてご門徒の数も増えるだろうし、葬儀も法事もいらぬ方が出てきても、布施だけは頂くことにすれば、今の寺院経営と変らないわけです。このお墓は8月中旬には出来すからご覧ください。

納骨は無料・墓誌は造らない

記録は寺の台帳以外には残しません。墓誌は造りません。自分の寺の墓に入るので、納骨費は無料です。でも会員費(護持会費)や葬儀や法事の布施はいただきますし、金銭が問

題ではなく、このような主旨に賛同し様々な布施を頂ければ、政治や行政の手が届かない問題に社会貢献活動として使用させていただきます。

8月中旬ごろ新聞折り込みで「無料墓」を紹介しますが、どなたか関心のある方には紹介ください。無料で納骨などは日本では聞かない取り組みなので話題になるかもしれません。

共同購入の墓もあり

とはいっても一基250万円からの完成墓地も分譲しています。今回は売り方を変えています。一つのお墓を共同購入でも良いのです。AさんBさんCさんの3人で購入すれば購入費は3分の1です。85万円弱になります。寺は3人の檀家が一つの墓で増えますので効率は良いのです。こんな分譲をしている寺もありませんから、これも話題になります。希望する方がいましたら紹介ください。

完成墓地分譲中

駅からミニバス運行中!

つつじヶ丘駅から杏林病院行きの「みたかシティバス」が当寺の前を通ります。つつじヶ丘駅のバス停は深大寺行と同じ場所です。京王バスと赤色の小田急バスが出ています。寺へは寺の前の坂を上がりきったバス停「中西」で下車です。お帰りは、寺から駅方面に70m、バス停「つつじヶ丘公園西口」から乗車が便利です。

1時間に2本で、大人200円・小児100円です。

つつじヶ丘駅発杏林病院行き

	平日・土曜	休日
7時から19時	15 45	20 50

土曜日の11時と18時は44分発です



**私と寺④
世話人として皆様と共に**

延浄寺世話人 田平 直行



父の遺骨を鹿児島から延浄寺に移して約三十年になります。そしていつの間にか自分の年齢も父を超えました。

当時一族の納骨堂に安置していた父の遺骨をどこに納めたら良いかを悩んでいたとき、延浄寺の檀家である親戚に勧められ、さらにお寺の雰囲気もよかったので延浄寺を選びました。そして無事納骨できたことは、いまでも懐かしく思い出します。

また昭和五十三年に上京してから一貫して、つつじヶ丘で不動産業に従事しています。つつじヶ丘近辺の賃貸が主ですが、売買や交換および建物の企画等は他県まで数多く取り扱っています。お寺所有の物件も携わっています。さて、先年から私はお寺の世話人を拝命しています。たくさんのお手伝いをする予定ですが、なかなか協力が出来ていないのが残念です。これからは、お寺や檀家の方からいろいろご相談やご指示をいただき、その中で自分として出来ることがあれば幸いと思えます。

そこで世話人として皆様にご協力が出るのかを考えてみました。得意分野は不動産に関する事です。

世話人になってから、数名の方から相続や売買にかかるご相談が寄せられました。不動産に係るご相談は賃貸や売買はもとより相続や税金、近隣トラブルまで様々です。

長くこの仕事に従事しているので、弁護士や税理士および司法書士とも即時協議できる点で、迅速なアドバイスが可能です。でもなかなか相談しにくいものですよね。そ

ういう時は、ご住職を介してお申し出ください。お寺の世話人としての自覚と良識を持って対応させていただきます。安心してご相談ください。また店舗はつつじヶ丘駅北口、徒歩1分です。お寺の帰りにでもお寄りください。



株式会社太平不動産 (代表取締役: 田平直行)
調布市西つつじヶ丘 3-35-12
TEL: 042-484-1000 FAX: 042-484-1727

延浄寺の触れ合いの会

次回は、8月18日(土)午後5時から7時まで65歳以上の男性の会です。参加者は一人一品以上の「おかず」を持参してください。

ペットの火葬と納骨

ペットの火葬は信頼あるアイリス(稲城市大丸14201 電話042-379-3322)に。火葬費はいろいろ違いがあります。電話で延浄寺の紹介と話し相談してください。納骨は延浄寺ペットのお墓へ、お檀家の方は5万円、刻字をする場合は8万5千円です(ペットのお墓は下の墓地の一番奥にあります)。

ダバオ日本祭りツアー参加者募集中

月日: 10月2日(火)~10月8日(月) (予定)
費用: 約17万円

詳細は、日本フィリピンボランティア協会 (03-5384-9536) 中井まで。